



緑町公園

はじめに

江戸時代のはじめ、備後十萬石の城下町として開拓された福山市は、瀬戸内海の豊かな自然と風土に根ざした伝統・文化を育みながら成長を続け、今日では、備後都市圏の中心的な役割を担う都市にまで発展しています。この間には、自然災害や戦災等、幾多の試練や難局にも見舞われましたが、郷土を愛する先人たちの英知と努力によってこれを克服してまいりました。市街地の約 8 割を焼失した戦災からの復興は、戦後の新たな都市計画によって進められ、その希望は、市民の手による 1,000 本のばらの植樹に込められました。こうした市民の思いに支えられた都市計画は、その後の本市を形づくる基礎となり、また、互いに支え合い、励まし合いながら復興に取り組んだ市民の思いは「100 万本のばらのまちづくり」を合言葉に今も引き継がれています。

一方、近年、社会経済情勢が急速に変化する中で、市民生活や経済活動などを支える都市そのもののあり方も問われています。時代のニーズが変化していく中で都市の姿も過去から未来へとその形を変えていく必要があります。

私たちは、郷土福山の伝統や文化、誇りを継承しつつ、瀬戸内の十字路に位置する優位性を生かした都市基盤整備を進め、活力と魅力にあふれた中国・四国地方における交流拠点都市として、さらなる飛躍を目指していく考えであります。

この冊子は、本市における都市計画の概要をご紹介します。ご理解をいただくことを願って編集したものです。今後のまちづくりを市民の皆さまと協働して進めていくうえで、少しでもお役に立てば幸いです。



2010 年(平成 22 年)4 月

福山市長 羽田 皓